



特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
社会編集者・仕組み屋・社会事業家

石原 達也

さん

プロフィール

氏名:石原 達也(いしはら たつや)

■肩書:社会編集者・仕組み屋・社会事業家

■所属(役職) ※順不同

特定非営利活動法人岡山NPOセンター(代表理事)

特定非営利活動法人みんなの集落研究所(代表執行役)

PS瀬戸内株式会社(代表取締役社長)

一般社団法人全国コミュニティ財団協会(常務理事・事務局長)

公益財団法人みんなでつくる財団おかやま(理事)

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク(理事)

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター(理事)

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター(理事)

特定非営利活動法人 NPOサポートセンター(理事)

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会(理事)

一般社団法人全国レガシーギフト協会(理事)

■専門分野:社会課題解決のための調査設計、協働・コレクティブインパクトのしくみづくり、組織設立と経営など。





プロフィール

■略歴:

- 1977年6月5日 岡山県岡山市生まれ。
- 1993年 森の仕事を志し「勝間田高校・林業緑地科」へ進学。下宿して3年間林業を学ぶ。
- 1995年 高校時代に中華人民共和国の砂漠緑化活動緑の協力隊に参加。NGOの存在を知る。そのきっかけで鳥取大学へ進学。
- 2001年8月 大学生だけのNPO法人「ふるさと文化研究会」設立。(副会長)
- 2002年4月 冒険遊び場「とっとり冒険きち」設立。(代表)
- 2002年4月 「鳥取大学ボランティアセンター」設立に参画。(広報担当)
- 2003年4月 「社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会」入職。市民活動支援を仕事とする。(ボランティアコーディネーター)
- 2004年～2008年 NPO情報誌「NPOLIFE」創刊。(主宰・編集人)
- 2005年4月 「遠足計画」設立。代表。(2009年NPO法人化)
- 2005年8月 「NPO法人岡山NPOセンター」入職。事務局長。(後に副代表理事を経て、現在、代表理事)
- 2012年9月 市民コミュニティ財団「みんなで作る財団おかやま」を約100人の若手呼びかけ人と530人の寄付者と共に設立。(理事)
- 2013年4月 「NPO法人みんなの集落研究所」を集落のシンクタンクとして設立。(代表執行役)
- 2018年7月 平成30年7月豪雨発災に伴い「災害支援ネットワークおかやま」を設立。(世話人)
- 2018年12月 SDGsの県内での推進のために有志のNPONGOで「SDGsネットワークおかやま」を設立。(会長)
- 2018年10月 SIBの案件形成とコーディネートを行う「PS瀬戸内株式会社」設立。(代表取締役社長)



岡山のオモシロイ人と出

しきぬ ソーシャルインパクトボンド 株式会社 リゾーム めぐみ
クーター プロデューサー 取締役 岡本尚
子さん 石原 達也さん 金藤 純子さん

おかや



岡山県から学ぶ
1から始める 調査の方法
～地域に必要とされる支援～

日時: 8/18 (土) 13:30～16:00
場所: みえ市民活動センター 交流スペースA
定員: 20人 参加費: 2,000円
対象: 県内中等教育施設教員、行政職員、ボランティアセンター等に所属する方
講師: 石原 達也さん

2019.11.16 [SAT]
場所/長瀬市役所 3階大会議室
電話/33:00～16:00

「中山間地の地域交通と地域包括ケア」講演会
～上山集楽みんなのモビリティプロジェクト事務局～

ハヶ岳山麓の 地域交通を考えよう!

三重県のNPOを資金面で支援して、地域課題の解決を加速させる。そんな基金をつくるための勉強会です。

コミュニティ財団の作り方 入門編

8月18日(土) 10時～12時
9月15日(土) 10時～12時
10月13日(土) 10時～12時
11月10日(土) 10時～12時

12月9日 11:00～12:30
町民センター大会議室



価値観

1. 想像することで経験不足を補完する。
2. 自分と周りを俯瞰で見る。自己実現より全体適性を優先する。
3. 短期的な結果にこだわらない。最後に勝てばよしとする。
4. 「物の理 (もののことわり)」に立ち戻る。



石原 達也 さん
特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
社会福祉主任兼大阪社会事業部

価値観を表すエピソード

1. 想像することで経験不足を補完する。

<p>石原さんは20代後半に働きながら自費でコピーライターの勉強をしていました。</p> <p>NPOのメッセージが伝わりやすくなるにはどうしたら？</p> 	<p>ある時、講師から…</p> <p>野球経験者でなければ野球のコピーはつくれないと思いますか？</p>  <p>そうか！</p> <p>相手のこと、その立場や生活や思いを想像すればいいんだ！</p>	<p>様々な社会問題がある中で、すべての現場で経験することはできないけど徹底的に想像することで経験不足を補完できる。</p> 	<p>また、「想像すること」を含めて子どもの頃にたくさん与えられていた絵本が想像力やものの考え方の基礎になっているのではないかとのこと。</p> 
--	--	---	---



石原 達也 さん
特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
社会福祉者 住職 大原 社会事業部

価値観を表すエピソード

2. 自分と周りを俯瞰で見る。自己実現より全体適性を優先する。

<p>石原さんは子どもの頃 三国志にハマっていた。</p>  <p>いろんな個性が 関わりあうって おもしろい！</p>	<p>遊びの場面でも友だちの 個性をふまえて役割分担 をするような子どもだった。</p>  <p>(石原さん自身はアイディ アを出したり、戦略を立て るのが得意だった)</p>	<p>それは現在の仕事でも 生かされており・・・</p>  <p>自分がやりたい役割より 全体の効率や機能を優 先して立ちまわっている。</p>	<p>ちなみに石原さんが実際 に適材適所をした例とし て・・・</p>  <p>フリーペーパーをつくり にあたり、写真をお願いした 女性がそれをきっかけに プロのカメラマンになられ たそうです。</p>
--	---	--	--



価値観を表すエピソード

3. 短期的な結果にこだわらない。最後に勝てばよしとする。

 <p>冷静で、あまり興奮したり、熱くなったりしないと言われることが多い石原さん。</p>	<p>なにかがダメだったときも、大きく落ち込んだりすることも少ないそうです。</p> 	 <p>一番よいのは「待てること」。感情に左右されずたんたんと、機が熟すのを待つことができる。</p>	<p>すぐに結果がでなくてもタイミングをみて再挑戦したり、すすめたりする。</p>  <p>社会を変える仕事にも長期的な視点と忍耐力が必要となるようです</p>
---	--	--	--



石原 達也 さん
特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
社会福祉主任兼副理事長 社会事業部

価値観を表すエピソード

4. 「物の理 (もののことわり)」に立ち戻る。

<p>石原さんはNPOだけでなく社会事業の起業や事業化に関する相談を受けることも多く、</p>  <p>組織の内部でも新しいプロジェクトや事業自体の運営や組み立て、広報の打ち合わせを行うことが多いそうです。</p>	<p>その際に気をつけているのが</p>  <p>このことは、「物の理」に立ち返って筋が通っているか</p>	<p>「理」とは筋道や道理のこと。「こうすればこうなる」という当たり前のこと、考え、意識を、自分が理想とすることややりたいことをするために曲げてしまったり、見ないようにしてしまうこともあるようです。</p>	 <p>物 の 理</p> <p>こういう言い方をすると相手はこう思うだろう。こういう内容では対象は納得しないだろうという当たり前の感覚を大切に、客観的にみることも大事ですね。</p>
--	---	---	---



今、関心があること

1. 岡山に、日本に、虐待や貧困で亡くなったり、理不尽な仕打ちを受ける子どもを0にする。そのことの支援を実現する。
2. 舞台芸術や映画。
見る側ではなく仕掛ける側、裏方をやってみたい。



次世代のリーダーへ提供できるもの

「アイデアとその考え方。」

食欲と同じように知的欲求が湧く。

「〇〇について知りたい」と思うと睡眠時間を減らしてでも本を読んだり、DVDを見てしまう。

社会事業の支援には幅広く様々なことについて知る必要があるので様々なテーマでお手伝いできると思います。



次世代のリーダーへのメッセージ

若い時の方が人に教えを請いやすく、
またそれを快く受けてもらいやすいです。
なので、なるべく多くの人に会い、
また、学びたいと思った人には重ねて何度も会う。
組織内ではない先輩を増やす。
多くの方は同じことを聞いても行動に移さ(せ)ない。
でも、すぐには移せなくても、いつかできる日が来る。
そのためにも多くの頼れる組織外の先輩をつくりましょう。